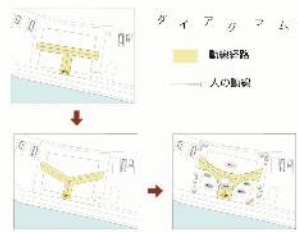


作品趣旨

トイレは人の生活に不可欠なものであり、生活を豊かにしてくれるものである。
 しかし、トイレは男女を完全に区別してしまうものである。そこで私たちは手洗いによって人と人をつながることを提案したい。トイレ以外でも手を洗う人、一緒にトイレにきた男女、親子、友人がトイレ後の待ち合わせ、1人で遊んだ子供たちの出合いの場を手洗いが中心の空間によって設計した。



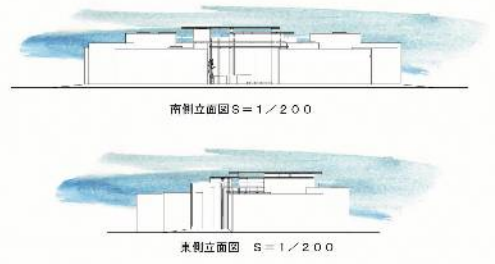
1. 無梁板CLT構造

メインのほっこり空間を広く心地よいものとするために、天井に梁を設けない外部の屋根の構造は「無梁板CLT構造」とする。柱は空間にランダム(4mごとのモジュールを設定)に配置されている。鉄骨の柱の上に鉄板のディスク(柱の2倍の直径)のものを設置し、CLTの柱根に穴が浅く、傷付かないようにする。
 夜はディスクの付着している照明が空接の間にやさしい光を打ちます。



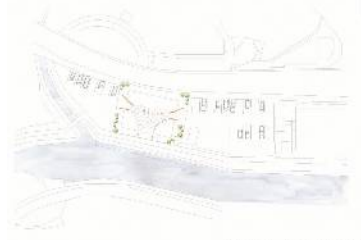
2. 相継ぎの可能性

図のように下階を固定し、上階は自由にさせることで下に空間(x)を付たせ渡面をすることが可能になる。



3. 環境配慮

積雪の多いこの地域に対して太陽光パネルを設置した。太陽光に蓄積した電力が、私営の日は無断水を通る水道管の水をあたためる湯を温める。



4. ユニバーサルデザイン

地上からフロアラインまで30cmある勾配を、建物の屋根に入るまでの間で解消した。子供のトイレやベビーベッドを多く、また、男性用トイレにもベビーベッドを設け男性の育児も応援した。
 水は子供にも届くように設計し、みんなが使えるように考えた。

